日本自治集団6月度定例会

　開催年月日　令和６年6月３０日

　出席者（五十音順、敬称略）

　　　伊賀良建設株式会社　田中千勝

　　　一般社団法人関西示道塾　目見田純也

　　　一般社団法人日本警備犬協会　川野信哉

　　　オリエント馬事産業株式会社　村上篤

株式会社三喜堂　福島總一郎

株式会社翼建設　小松新吾

　　　国際共生創成協会熊野飛鳥むすびの里　荒谷卓

　　　有限会社ars　朝見剛彦

　　　農士候補生　今村亮太

　　　農士候補生　上田与嗣

　１　荒谷代表挨拶

　　・共考サロンから引き続きで長時間になりますが、6月の定例会を開催します、宜しくお願いします。市場担当の宮平さんが退出されているので、わたしのほうからお話しします。本日ご参加で市場に出したいものや必要としているものがあればご発言ください。

　　㈱三喜堂福島：身内の手がけている畑からニンニクとブルーベリーを市場にのせたいと思います。

　　　むすびの里荒谷：㈲ars朝見さんにむすびの里の工事を発注することになった。

　２　部会委員長報告

　　（１）国土エネルギー経済部会　白山徳彦委員長

　　　　　　①小水力発電作業について

　　　　　　　・今週木曜日と金曜日にむすびの里にて実験中の小水力発電を行う予定である。発電できれば、小水力発電事業については完了となる。電力としては300～400ｗを賄える見込みである。

　　　　　　②井戸作りについて

　　　　　　　・共育部会大原委員長より発案頂いている井戸掘について、検証場所は当部会朝見さんの和歌山県に開いた武道施設敷地内の畑近辺とし、着手は９月上旬で調整中である。

　　　（２）共育部会大原委員長代理目見田委員

　　　　　　①8月の共考サロン（オン・サイト）について。８月１６日土曜日、一泊二日で開催。静岡県御殿場市「オリエント馬事産業㈱」村上さんの施設の会議室をお借りして共考サロン及び定例会の開催と決定した。１７日は浅間大社への参拝を予定している。

　　　　　　②この開催にあたって、７月２７日土曜日１８時３０分から共育部会の打ち合わせを行う。

　　　（３）農食健康部会三浦委員長欠席

３　農士候補生より現況と今後の活動に関する報告

1. とよくも農園研修今村候補生

　お世話になっております、今村です。まず初めに、昨年１２月の総会におきまして、農士という立場でありながら、皆さんが自治集団という団体を進められてきた経緯であったり、いろんな想いというものを知らずに、自分の客観性のない状況判断から、あの場で和を乱すような言動をしてしまったことを、申し訳なく思っております。すみませんでした。

現状：とよくも農園において農作業を中心に研修を続けています。

今後の活動：三浦さんと相談しながら、いろいろ考えているが具体的なことは定まっていない状態にあります。農士の研修という機会を通じていろいろ多くのことを学び、価値観や歴史観について変わった部分が多くあり、現実自分がこれからどうしていくか、今の社会で起きている物事について、どう選んでいくかについて時間をかけて考えていって、自分が勉強してきたことをお伝えできればと思います。

1. むすびの里研修上田候補生

　　　　　　荒谷代表：上田君については２年目は自分で農作業するだけでなく農作業を指導する、人に伝えられるようにということで、そういった機会をできるだけ作るようにしている。具体的に朝見さんの和歌山県の「あさみーらんどの農場」開発について毎月一度の指導訪問、むすびの里に訪れて農作業体験をする人には上田君から指導を行うようにしている。研修期間としては２年間を予定していて、上田君は３月からの研修開始で来年の２月いっぱいまでが研修期間となる予定であったが、８月の稲刈り以降は春冬野菜くらいしか農作業がないことから、9月いっぱいで農士研修を終了し、１０月以降については、彼の自立した活動に着手するということで本人と話をしている状況である。皆さんから、上田君の研修終了後、農士として日本自治集団内で行ってもらいたいことなど、ご意見を伺いたい。

　　　　　　　　　　基本的には、日本自治集団においても農士の育成を事業化したということは、農業指導者として日本自治集団に貢献するという意味合いで事業をやっていたと思うので、まずは皆さんの方から何かご意見あればそれを踏まえて考えていきたい。

　　　　　　　朝見さん：引き続き農場を手伝ってもらいたいが、報酬を払え

る状況ではない。

　　　　　　　小松さん：新設の農場を任せたいが、それ専門というのは無理。

会社の仕事を手伝って、その上でというのなら考える。

　　　　　　　白山さん：社員として受け入れることも洗濯としてあるが、農

業専門でというのは無理なので、それでは上田君のやり

たいこととは違うような気がする。

　　　　　　　村上さん:新設の農場を息子とやってもらうということも一案と

してはあるが、それは農士の活動とはしてはそぐわない

ような気がする。

　　　　　　　上田候補生：元々お坊さんをやっていて、縁あって東京の頃に先生として教えて頂いていた荒谷さんから現在農業を学ばせていただいていますが、こちらで農を始め、武道、学問と食事時や農作業中にふと感じたことを質問したりしながら勉強させていただいています。これからの方向性としては、やはりお坊さんんをやりながら農業をしていきたいと考えています。今は宗教から離れ、檀家さんからも離れて厳しい状況ではありますが、仏教を信じていますので、仏教の生活のもと、農業を地域の中でやっていって、何気ない草刈りや手伝い、お寺に住むことになれば座禅をしたり、武道もやって体を鍛えたり、総合的にお寺を中心にやっていきたいと思っています。具体的な話は全く決まっていませんが、自治集団内のどこかの会社さんに勤めるとかお金を頂くとかではなく、必要があれば手伝いに行くという形で皆さんとつながっていければと思います。

　　　　　　荒谷代表：農士事業は、最終的な姿を完全に定めて開始した事業ではないので、今回の上田君の日本自治集団とのかかわり方が最初のケースとなる。上田君のいうように、坊さんやりながら百姓をやって、皆さんから何かしら要望があれば出向いて農の指導を行うというのもいいと思う。その場合例えば上田君が我々と同じようにメンバーシップを持ちかかわっていくのも一つの姿であるかと考える。ただ、生活面について、本人もビジョンがあるわけではないようなので、そういったところで皆さんからも何かいいアイデアやご意見を頂ければと思う。基本的には、本人の意思を尊重した形で、これからの自分が日本自治集団の想いに賛同した生き方をしていくうえで、日本自治集団の中でどうかかわっていくかを、意見を出し合って考えていけたらと思う。

　　　　　　　　　　　実際の修了にはまだ二か月ほどあるが、皆さんも日本自治集団と農士の関係について考えてもらいたいと思います。

４　参画団体からの周知事項

　　・伊賀良建設株式会社　田中千勝

1. 先々週から放置されていた畑の草を刈り、本日大豆を撒く予定であったが、天候不順により準備のみで種蒔きは延期となった。このあたりの地域では、６月下旬から７月上旬にかけて豆を蒔くので、今週末から来週にかけて蒔き、１１月の収穫を目指していこうと考えてやっている。

　　・一般社団法人関西示道塾　目見田純也

1. 関西示道塾としては、７月２１日に淡路島の賀正軒の福田さんの農園で、ヒエ取りを人材研修として行うこととしている。

　　・一般社団法人日本警備犬協会　川野信哉、川野悌子

1. サウジアラビアの大使館からの仕事で、国賓警護の一環で爆発物探知の仕事の話があったが、BRICSであるため日本には来ずということにはなった。時勢としてこういった仕事もニーズがあると思うので大使館への営業強化していこうかと思っている。本業以外の活動として農業については現在試行錯誤の状態である。

　　・オリエント馬事産業株式会社　村上篤

1. 荒谷さんのところで農研修を受けさせてもらっている息子が戻り次第、１５歳の妹とともに農園を手掛けることとなっている。土地は借用することとなっており、本業の馬事産業の隣の敷地となっている。息子には本業の方は手伝わせず、農園のほうの専門として働いてもらいたいと思っているが、二人でどの程度できるのか、あといったい何人の手が必要なのか、見当がついていないところである。

・株式会社三喜堂　福島總一郎

1. 引き続き、当社社員の鬼頭絵理子さんが農士候補生としてむすびの里にて研修を受けている。おやじさん、農士候補生の先輩上田さん、それと地元の方のご指導を受けつつ、田んぼと畑に着手している。農薬も使用し、ヒエなどの雑草も多くはなく、順調に進んでいるという状況であります。本業に関しては東京以外で、熊野において鍼灸の訪問施術を行いつつ、本業以外で農作業を行うことを始めているが、双方が順調に運ぶように調整を行っているところである。

・国際共生創成協会熊野飛鳥むすびの里　荒谷卓

1. ひたすらヒエ抜きを頑張っている。この1カ月だけでも千人時以上の労力をかけ、ヒエ取りを行っている。
2. ７月６日から２３日まで、ロシア人がむすびの里に訪問滞在しているので、ロシア人と交流したい方はいらしてください。

　　・株式会社翼建設　小松新吾

1. 前回に引き続き、仕事が忙しく、畑がままならない状態である。雑草が伸びるばかりの畑用地に手を入れつつ、工場を整理しつつ、工場をこのままでいくのか、新しいところへ移すのか考え中である。

・有限会社ars　朝見剛彦

1. 和歌山に大きな道場を建てたものの、ウクライナ戦争など社会情勢により資材の高騰など影響を受け、巨大な借金を背負うこととなったが、大変な中でも大事なことも見えてきており、この峠を越えれば次の段階に進んでいけるものと考える。

　　・有限会社フロンティアジャパン　白山徳彦

1. 会社の事業として草刈りラジコンを使用した草刈り事業を始めており、次回むすびの里に小水力発電で作業する際にも草刈りラジコンをもっていって草刈りしようと思っている。

次回定例会

　７月２７日土曜日　１９時３０分～